

様式2-1

大学等における修学の支援に関する法律による  
授業料等減免の対象者の支給継続に当たっての要件等確認書

申請者（本人）について

申請者 （本人）	国籍等	日本国 ・ 日本国以外		
		在留資格	(国籍が「日本国以外」の人のみ回答)	
			永住者・法定特別永住者・日本人の配偶者等・永住者の配偶者等・定住者・家族滞在	
		在留期限	(在留資格が「法定特別永住者」、「永住者」以外の人のみ回答)	
			(西暦) 年 月	
		日本に永住する意思	(在留資格が「定住者」の人のみ回答) あり ・ なし	
		日本への初入国時期	(在留資格が「家族滞在」の人のみ記入) ※国内で出生又は12歳に達した日の属する学年の末日までに初めて入国していましたか。	
			はい ・ いいえ	
		日本の小学校から高校等までの卒業(修了)の有無	(在留資格が「家族滞在」の人のみ回答)	
			している ・ していない	
			小学校名 (出身学校名)	
			卒業年月	年 月
			中学校名 (出身学校名)	
			卒業年月	年 月
高等学校名 (出身学校名)				
卒業年月	年 月			
日本に就労して定着する意思	(在留資格が「家族滞在」の人のみ回答) あり ・ なし			

生計維持者について

同一世帯に父母ともいる場合、収入の有無に関わらず、必ず父母とも「生計維持者」の欄に記入してください。

(生計維持者とは、申請者の家計を支えている者であり、原則父母としています。父母がいない場合は、代わって生計を維持している者となります。(最大2名))

生計維持者 1	フリガナ		申請者との続柄		
	氏名				
	現住所	( <input type="checkbox"/> 申請者と同じ場合は左に✓を入れてください。 )			
		〒	—		
	生年月日	(西暦)	年	月	日生 ( 歳)
	〇〇年1月1日時点で生活保護法の生活扶助を受給している。		はい	・	いいえ
〇〇年1月1日時点で日本国内に住民票の登録がある。		はい	・	いいえ	

生計維持者 2	フリガナ		申請者との続柄		
	氏名				
	現住所	( <input type="checkbox"/> 申請者と同じ場合は左に✓を入れてください。 )			
		〒	—		
	生年月日	(西暦)	年	月	日生 ( 歳)
	〇〇年1月1日時点で生活保護法の生活扶助を受給している。		はい	・	いいえ
〇〇年1月1日時点で日本国内に住民票の登録がある。		はい	・	いいえ	

資産の申告

申請者（あなた）と生計維持者（原則父母）の資産の合計は2,000万円未満（生計維持者が1人の場合は1,250万円未満）ですか。	はい ・ いいえ
---	----------

※ 「いいえ」を選んだ場合は、基準を満たしていないため、授業料等減免を受けられません。

申請者（あなた）と生計維持者（原則父母）の資産額 （1万円未満は切り捨てて記入）	申請者（あなた）	生計維持者 1	生計維持者 2

※ 申請者（あなた）と生計維持者（原則父母）に関する市町村発行の最新の「住民票の写し」及び「課税証明書」を添付してください。課税証明書には、次の項目が記載されていることが必要です。

①課税標準額 ②調整控除額 ③調整額 ④扶養親族の数 ⑤合計所得金額 ⑥総所得金額等 ⑦本人該当区分

※ 申請者や生計維持者のいずれかが生活保護を受給している場合には、1月1日時点の生活保護受給証明書を添付してください。

※ 社会的養護を必要とする、あるいはしていた方の場合、生計維持者の欄は記入不要です。児童養護施設等の在籍又は退所証明書を添付してください。

※ 外国籍の方は、在留資格及び在留期限がわかる証明書を添付してください。

※ 申請書に記載された内容及び提出された書類の情報は、授業料等減免の認定及び法人が実施する経済支援のために利用します。また、今後の授業料等減免制度の検討のため、統計資料の作成に利用する場合がありますが、作成に際しては個人が特定できないように処理します。

扶養しているこどもの数の申告

生計維持者の扶養するこどもの数	人
-----------------	---

※ こちらは多子世帯（扶養する子の数が3人以上である世帯が対象）に該当する場合に生計維持者の扶養するこどもの数を申告してください。併せて、生計維持者（原則父母）に関する市町村発行の最新の「課税証明書」（原本）を添付してください。